

レゴブロックを活用した授業について

学校名：津市立黒田小学校

教科等	英語活動
実施学年	第3学年
単元名	このお話なあんだ？

本時の目標	“What's that? ” “It's a ~.”の表現ができるようになる。
準備物	レゴブロック（StoryStarter）作ったお話のセット、書画カメラ、テレビ

<本時の流れ>

学習活動	教師の支援・留意点
1 Greetings	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語係が行う。 ・“How are you? ” “I'm ~, and you? ” の受け答えができているか確認する。【HRT&ALT】
2 Phonics: ♪Phonics Alphabet Song	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきり発音できているか確認する。【HRT&ALT】
3 Today's Lesson HRT: What's that? ALT: It's a peach. HRT: Japanese please. ALT: もも！ What's the story? HRT: It's <i>momotaro</i> . ALT: That's right.	<ul style="list-style-type: none"> ・HRTとALTがデモンストレーションをする。 ・ALTのあとについて“What's that? ” “It's a ~.”の練習をする。 ・ペアで練習をする。
Story ・ Cinderella ・ Snow White and the Seven Dwarfs ・ THE GIANT TURNIP ・ Taro Urashima ・ The Hare and the Tortoise	<p><StoryStarterについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話の場面は前もって各グループで作っておく。 ・場面はグループで担当を決めて作る。 ・それぞれの担当した部分を英語で言えるように練習しておく。 ・4人グループが5つ。 ・残りの4つのグループがひとつずつ質問をし、それがヒントになる。 ・4つのヒントを元にしてグループでお話のタイトルを予想して答える。
4 Summary	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業の振り返りをする。

5 Greetings	※ StoryStarterを使った授業の感想 ※ “ What's that? ” “ It's a peach.”が使えたか。 ・児童の英語係が行う。
-------------	---

<成果と課題>
<ul style="list-style-type: none"> ・レゴを使うという新しい取り組みで、子どもたちはとても興味深く期待感を持って取り組むことができた。ひいては英語が楽しいという感情につながったようである。 ・自分たちで作ったものを伝えるということで、たいへん意欲的に授業に参加することができた。クイズ形式にしたことはよかったと思う。 ・仲間づくりの意味でも、レゴは大変役だった。グループの中でレゴを通して自然に話が盛り上がり、コミュニケーションできた。 ・英語とは別の問題であるが、本時の段階に至るまでにレゴで作品を作るという経験をさせる必要があった。図工のデッサンと同じで、方法を知らないと生まれてこない。ある程度、仲間どうし見よう見まねで様々なものを作る体験をさせておくとよいだろう。